

平成21年5月11日

学生・教職各位

新型インフルエンザに対する対応について（第2）

5月9日に帰国者の検疫で日本ではじめて新型インフルエンザ感染例が確認されました。

学生、教職員の皆さんは、最新情報を入手し冷静かつ適切に対処して下さい。日常的な感染防止策、すなわち規則正しい生活と十分な休養、人ごみでのマスク着用、消毒用アルコール等を用いての手指衛生などを継続して下さい。

現在のところウイルスは弱毒性で感染力も季節性インフルエンザと同等とみなされ、強毒性を想定した現行の対策からよりゆるやかな対策への変更も検討されつつあります。しかし、今後の状況の変化によっては、対策強化の可能性も否定できません。既にお知らせしたように新型インフルエンザに係る情報については、大学のホームページ及び校内ポータルサイトのお知らせに留意し対応して下さい。

併せて、厚生省、国立感染症研究所、WHO、CDCのホームページを確認しながら適切な行動をとるようにして下さい。

※厚生労働省「新型インフルエンザに関する情報」

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>

※感染症研究所感染症情報センター「新型インフルエンザ」

http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/index.html

※WHO <http://www.who.int/en/>

※CDC <http://www.cdc.gov/h1n1flu/>